

RESPONSE JET

SPORTS LINE

この度は弊社製品【RESPONSE JET/レスポンスジェット】をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。本製品は過給圧制御ソレノイドバルブを制御することにより車両のブースト圧を安全な範囲で上昇させ、加速の向上を可能にするシステムです。
本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。
※すでにブーストUPされている車両には取り付け出来ませんのでご了承ください。 ※その他弊社製品との組み合わせは可能です。

⚠ **警告** 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- 本製品はブースト圧制御ソレノイドバルブ制御を目的に製作されています。配管及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす 場合が考えられますので十分慎重に取り扱い下さい。なお何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

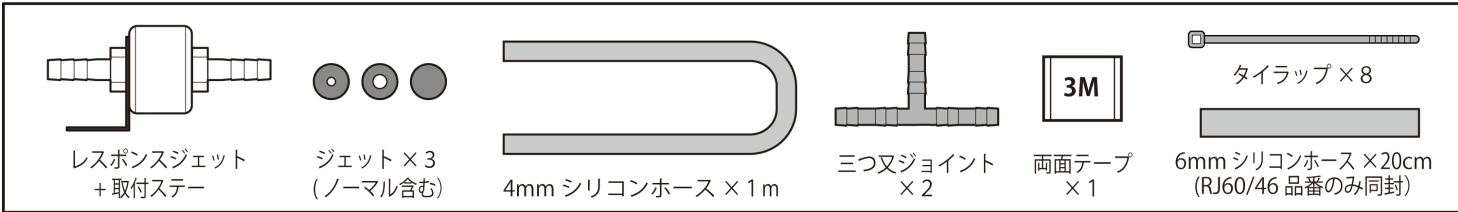
⚠ **注意** または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。
- 配管を這わす時には可動部分は避けて取り付けて下さい。巻き込まれたり引っ張られたりして配管が切断しないように十分注意して下さい。

●レスポンスブレードの特徴

- 2～3種類のジェットが付属されていてジェットを交換することによりブースト圧の微調整が可能です。
※エンジンに大きな負担がかからぬようにジェットを選定してあります。
- 車両の配管、ホースを加工することなく取り付けすることが可能です。
- 弊社製品との組み合わせが可能です。MINICON PROとの併用を推奨いたします。

●付属品

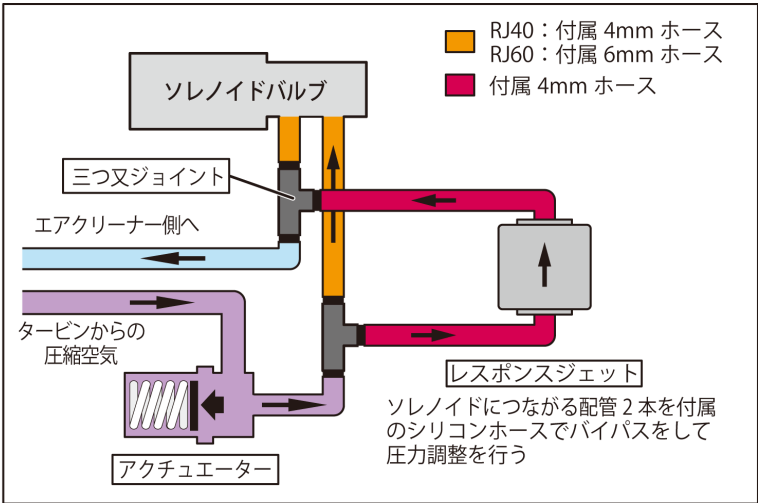
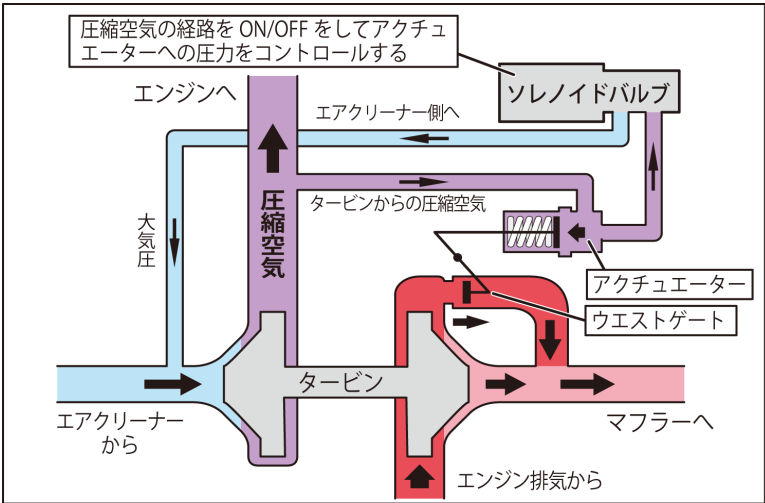


●取り付け方法

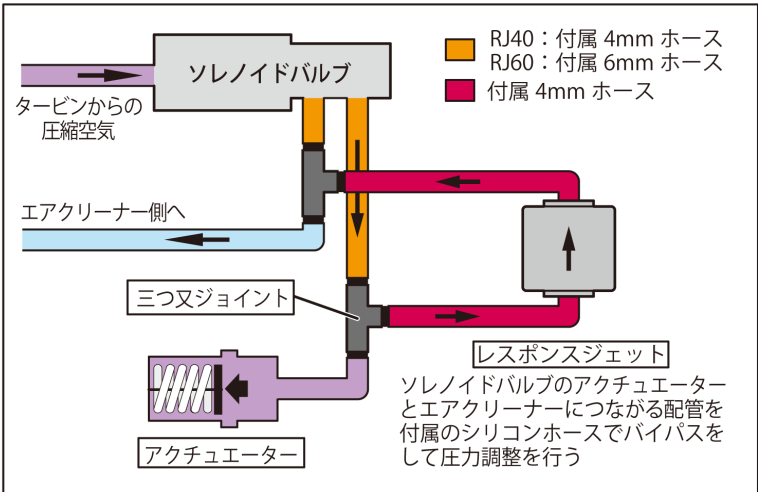
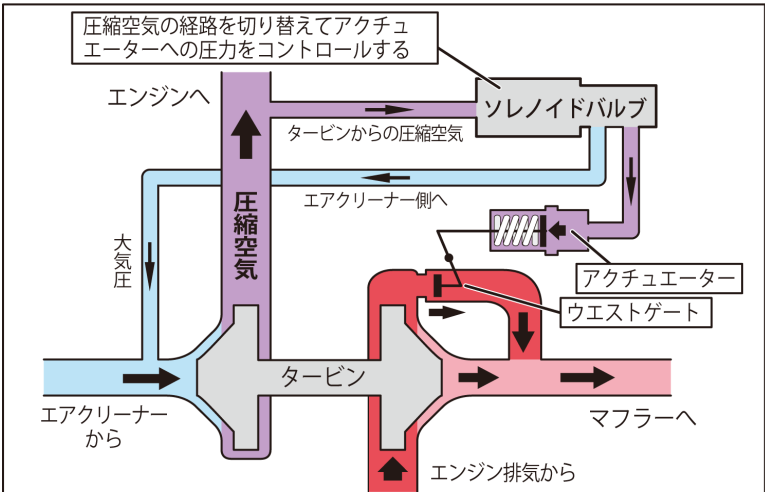
- エンジンを停止させ、エンジンキーを抜いて作業をおこなって下さい。

1.配管図

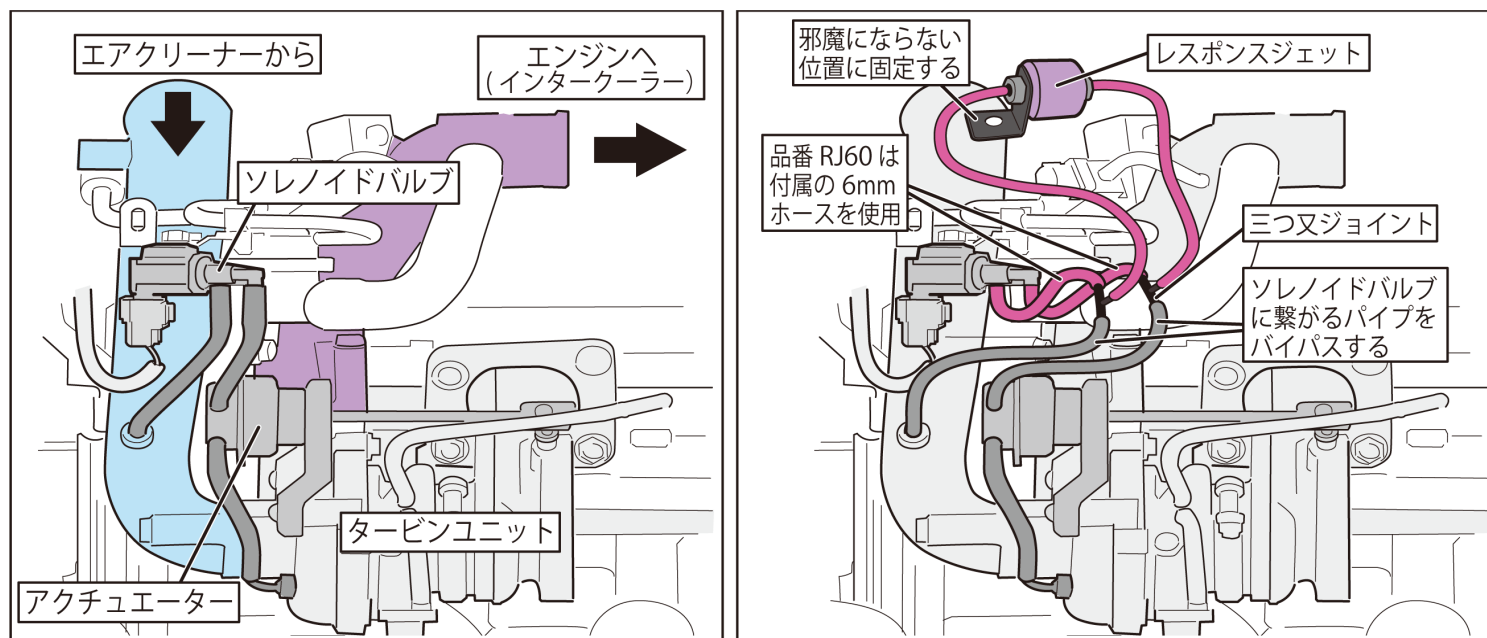
2WAYソレノイドバルブ (ソレノイドバルブの配管が2カ所)



3WAYソレノイドバルブ (ソレノイドバルブの配管が3カ所)



2.配管例

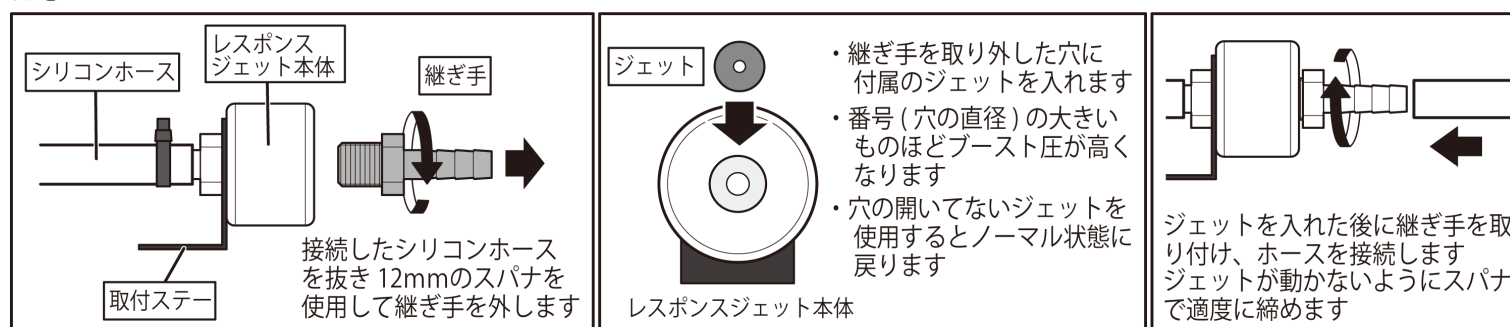


- 1 ソレノイドバルブ(ウエストゲートバルブ)から出ている配管(2カ所)を抜いて下さい。
- 2 付属のホースを適度な長さにカットし、三つ又ジョイントを使用して上記図のように配管を行って下さい。
- 3 レスポンスジェット本体を邪魔にならない場所に取り付ステーを使用して固定して下さい。
※適合品番RJ60の車両はソレノイドバルブの配管が6mmのため付属の6mm(20cm長)のシリコンホースを使用して下さい。
※3WAYソレノイドバルブの場合は3本の配管のうちアクチュエーターにつながる配管と吸入口(エアクリーナーボックス)につながる配管をバイパスします。
※車両によってはバンパーを外さないと作業ができない場合があります。その場合はバンパー取り外して作業をして下さい。

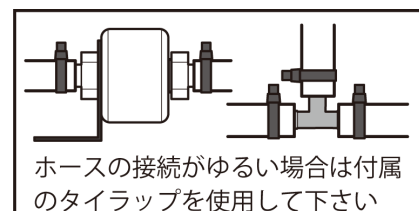
- 注意**
- シリコンホースが折れ曲がると空気が詰まってブースト圧が上がらなくなります。余裕をもって配管をしてください。
 - 一部の車両ではシリコンホースが長すぎると十分にバイパスすることができずブースト圧が上がらない場合があります。その場合はシリコンホースを短くカットしてレイアウトし直してください。

●セッティング方法

- 注意**
- 車両に走行モード切替がある場合はスポーツ/パワーモードを使用して下さい。エコ/ノーマルモードではブースト圧の変化がわかりにくい場合があります。



- 1 レスポンスジェットの片側のホースを抜き、12mmのスパンを使用してレスポンスジェットの継ぎ手を外します。
 - 2 ジェットをレスポンスジェット本体の中にセットし、継ぎ手を取り付けてください。
 - 3 中のジェットが動かない程度で継ぎ手が抜けにくい程度にスパンで締めてください。
- ※ ジェットの番号(穴の直径)が大きくなるほどブースト圧が高くなります。
- ※ ジェットの番号によりブースト圧、フィーリング、燃費等を考慮し、最適なジェットを選択して下さい。



- 注意**
- レスポンスジェット本体に必ずジェットを装着してご使用ください。ブースト圧が上がりすぎて危険です。

ノーマル復帰方法

穴のないジェット(#N)を使用することによりノーマルのブースト圧に戻ります。

MINICON / MINICON PROとの併用

- ブースト圧が上がりすぎて燃料カットが入りブースト圧が落ちる場合はMINICON/MINICON PROと併用することで車体圧力センサーの出力値を低くして燃料カットがおこるタイミング緩和することができます。
- ※MINICON/MINICON PROの適合品番が圧力センサー接続(MC-〇〇OP、MCP-〇〇OP)の車両に限ります。
- エアフローセンサー接続のMINICONでは効果はありません。

【MINICON PROと組み合わせて使用する場合】

1. モードスイッチを3に設定して下さい。
2. 実走行しながら燃料カットがなくなるまでフューエルボリュームをマイナス方向に1メモリずつ回しセッティングして下さい。

【MINICONと組み合わせて使用する場合】

1. モードスイッチを2に設定して下さい。

●トラブルチェック



●エンジン始動して異音や不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させて原因を解決してから本製品を使用して下さい。

【本製品装着による変化が感じられない】

- 車両がECOモードになっていると効果が感じにくい場合があります。スポーツ/パワーモードで使用して下さい。
- 接続したシリコンチューブが折れて空気が流れていない可能性があります。配管を見直して下さい。

【アイドリング不調】

- 配管部分からエア漏れしている可能背があります。配管の継ぎ目、レスポンスジェットの継ぎ手を確認して下さい。
- 配管が正しくされているか確認をして下さい。

【ブーストリミッターカットが入る】

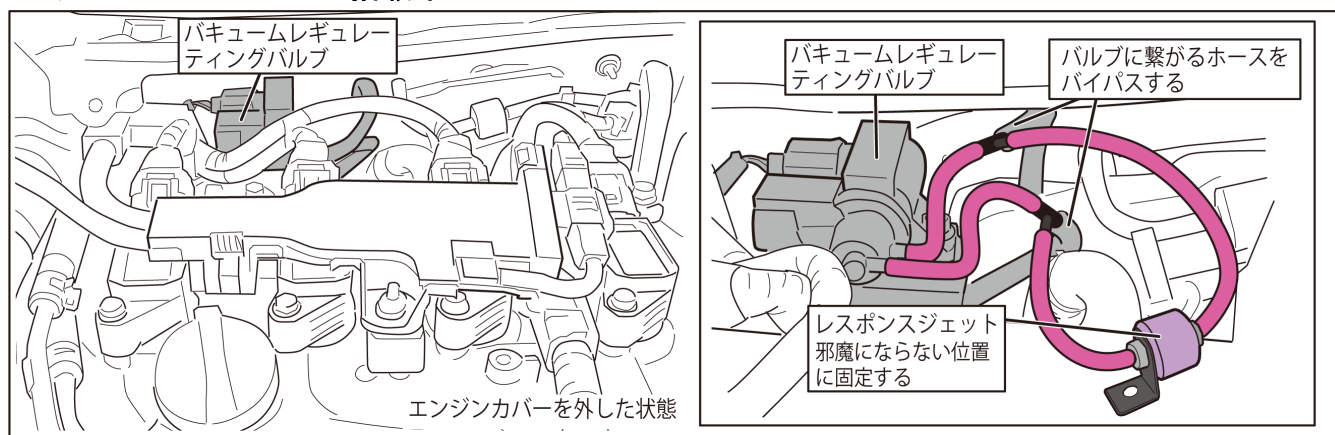
- 配管部分からエア漏れしている可能背があります。配管の継ぎ目、レスポンスジェットの継ぎ手を確認して下さい。
- 車両の改造具合によって付属のジェットでの使用でも車両側のリミッターが入る場合があります。その場合はジェットの番数を下げて下さい。

【ブーストがノーマルより上がらなくなった】

- シリコンホースが折れ曲がると空気が詰まってブースト圧が上がらなくなります。余裕をもって配管をしてください。
- 一部の車両ではシリコンホースが長すぎると十分にバイパスすることができずブースト圧が上がらない場合があります。その場合はシリコンホースを短くカットしてレイアウトし直して下さい。

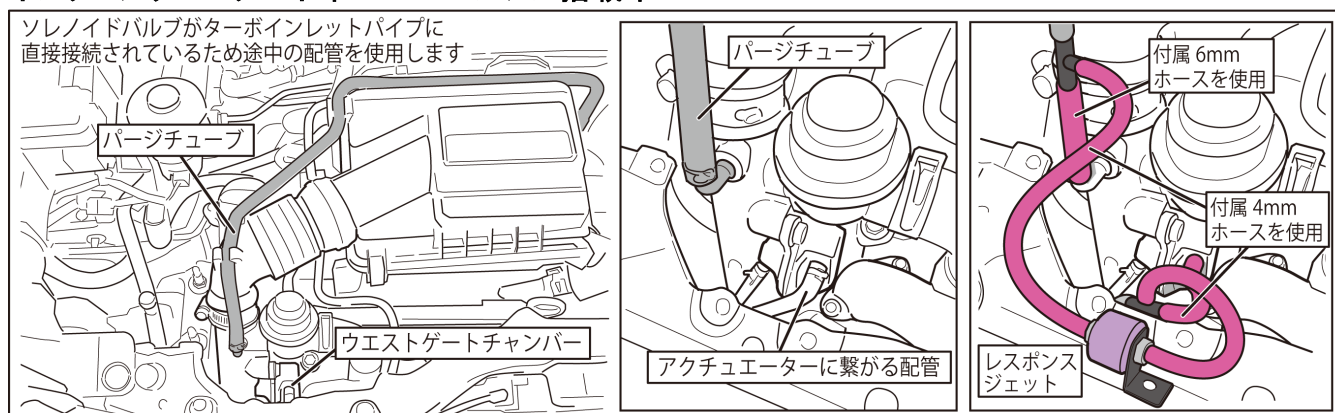
●参考資料

トヨタ 8NR-FTSエンジン搭載車



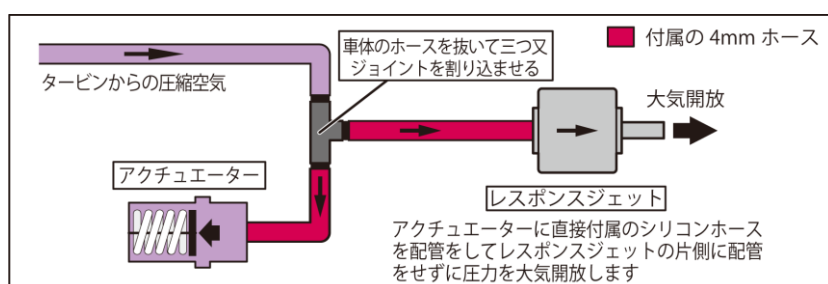
- 1 エンジンルームバルクヘッド近くのバキュームレギュレーティングバルブへ配管して下さい。
- 2 付属のホースと三つ又ジョイントを使用して上記図のように配管を行って下さい。
- 3 レスポンスジェット本体を邪魔にならない場所に取り付ステーを使用して固定して下さい。

ホンダNシリーズターボ車 S07Aエンジン搭載車



- 1 ホンダNシリーズターボ車はソレノイドバルブに配管するのが困難なため、途中の配管を利用して取り付けを行います。
- 2 パージチューブを抜き付属のΦ6mmシリコンホースを適当な長さにカットして接続します。
- 3 ウェストゲートチャンバーとアクチュエーターに繋がるパイプを抜き付属のΦ4mmシリコンホースを適当な接続します。
- 4 付属のホースと三つ又ジョイントを使用して上記図のように配管を行って下さい。
- 5 レスポンスジェット本体を邪魔にならない場所に取り付ステーを使用して固定して下さい。

ソレノイドバルブがない場合、配管が困難な場合(ハスラーMR31/41S)



アクチュエーターに直接レスポンスジェットの片側を配管して下さい。
レスポンスジェットの逆側は未配管で大気開放します。

大気開放にて使用する場合は、点検・車検時にはノーマルジェット(＃N)を使用して下さい。